

2022年度までのSDGsに対する取り組み



医薬化粧品産業労働組合連合会



産業を健全に発展させていくための産業政策立案・実現に向けた要請活動【産業政策委員会】

3 すべての人に
健康と福祉を



- 2019年6月（厚生労働省医政局経済課 三浦課長、田中室長／薬粧連合 浅野会長、斉藤副会長（産業政策委員長）、玉井副会長、佐藤副会長、小西事務局長、川口副事務局長、松野中央執行委員／国民民主党 桜井充参議院議員）（要請書）は[こちら](#)
- 2020年06月（厚生労働省医政局経済課 田中室長、林課長、薬粧連合 浅野会長、水上副会長(政策担当)、佐藤事務局長、斉藤副会長、松村副事務局長、桜井充参議院議員）（要請書）は[こちら](#)
- 2021年06月 桜井充参議院議員、薬粧連合 斉藤副会長、水上副会長(政策担当)、浅野会長、厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）伊原氏、厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）政策統括室 政策企画官 和田氏、厚生労働省 医政局経済課 課長補佐 宗得氏）（要望書）は[こちら](#)
- 2022年05月 桜井充参議院議員、薬粧連合 斉藤副会長、水上副会長(政策担当)、浅野会長、厚生労働省 伊原医政局長）（要望書）は[こちら](#)



産業を健全に発展させていくための産業政策実現に向けたシンポジウム開催【産業政策委員会】



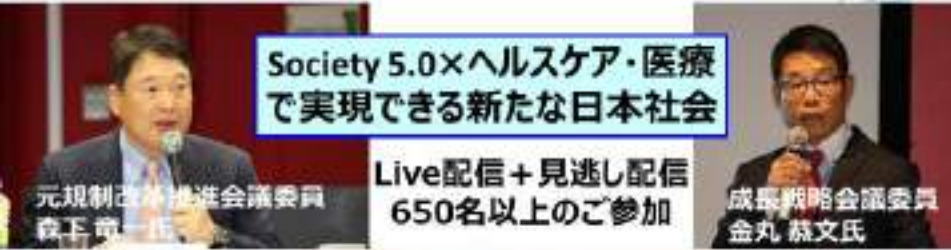
2021年5月24日 第一回 政策シンポジウム開催



2022年5月10日（火）開催

薬粧連合 第2回政策シンポジウム

コロナ禍を契機し、新たに認識すべき医薬品の価値とは何か、
～国民の安全・安心を守るために医薬品産業が果たすべき役割と制度の在り方～



- ・コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学、内閣府 健康・医療戦略推進事務局健康・医療戦略参与 森下 竜一氏
- ・基調講演：「医療・ヘルスケア×IT・AI」フューチャー(株) 代表取締役会長兼社長グループCEO、成長戦略会議委員 金丸 恭文氏
- ・講演：「Society 5.0社会に向けた事例紹介」「アイトラッキング技術による新しい認知機能評価法」(株)アイ・ブレインサイエンス 代表取締役社長 高村 健太郎氏
- ・「医療のDX」医療法人社団鉄祐会 理事長、(株)インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 武藤 真祐氏
- ・「オンライン診療の現在と今後の展望」(株)メドレー 事業連携推進室 篠崎 智洋氏
- ・パネルディスカッション：「Society 5.0社会を実現するために」
- ・コーディネーター：森下 竜一氏、薬粧連合 副会長 水上 裕一
- ・パネリスト：金丸 恭文氏、高村 健太郎氏、武藤 真祐氏、篠崎 智洋氏

- 【講演&パネルディスカッション】
- ・「パンデミック・新デジタル時代の個別化保健医療と医薬品～サブライサイドからデマンドサイドへ」
塩崎 恭久先生（前衆議院議員、第17代、第18代厚生労働大臣）
 - ・「医薬品政策をとりまく最近の動向」
坂巻 弘之先生（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科教授、医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 委員）
 - ・「くすりの価値の昨日・今日・明日～コロナ禍で見えてきたこと～」
五十嵐 中先生（横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット 准教授、東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 客員准教授）

ジャパンハート講演会、地域の居場所の感染対策勉強会 【社会貢献委員会】



私たちの
目指す姿

世界の人々の健やかでいきいきとした暮らしへの貢献に向け、「人生をかけて取り組むべきこと」を振り返り、豊かな心を醸成すると共に、新たな一歩を踏み出す機会をつくりたい



● 『ジャパンハート』とは

- ✓ 医療の届かないところに医療をとどける
- ✓ 「貧困や医師不足に喘ぐ海外」「日本国内の僻地や離島」「病気と闘う子どもたちのこころ」「大規模災害を受けた被災地」を支援

● 講演会の実施

- ✓ 「国内外の医療課題解決に向けて、今、私たちが、取り組むべきこと」を考える機会として、ジャパンハート代表 吉岡 秀人医師による講演会を実施。



● 東京ボランティア市民活動センター主催「～地域の居場所の衛生管理を確認しよう～新型コロナウイルス感染対策オンライン勉強会」

- ✓参加者：地域の居場所の活動団体、ボランティア・市民活動センター（約50名）
- ✓内容：地域の居場所における感染予防対策の基礎知識
グループディスカッション（用意された写真を見て、どこに感染リスクがあるのか？また対策などを考え、グループで意見交換をしました）



- ・法令遵守に関する調査(委員会主体)実施、
- ・法令遵守調査(薬粧連合全体)結果の活用【生産委員会】



①法令遵守情報収集 (2021年3月実施)

目的：後発医薬品製造企業による不祥事をふまえ、生産部門として、品質問題への対応等について情報共有を図ることで、同様なリスクを低減するため、薬粧連合加盟組合所属企業の医薬品製造における法令遵守に向けた取り組み状況を集約し共有することで各企業の医薬品製造に対する法令遵守・逸脱防止に向けた取り組みの参考としてもらう。

確認事項：①今回の事案を契機に改めて実施している取り組み、②従来から法令遵守のために実施している取り組み、③その他、法令遵守に関するフリーコメント、④労働組合として独自に取り組んでいる事項

②法令遵守アンケート結果の分析・考察

管理職・契約社員に対する
教育の実施状況
⇒多職種に比べて低い↓



「法令遵守」「品質」「安全衛生」「労務管理」等の
問題発生状況や意識醸成の状況

クロス集計結果より関係性が認められた

考察：企業による教育等は実施されているものの、組合員の認識としては、教育がされていないと認識される方が多数を占めた。職場における各種法令の意識付けには管理職の行動が大きく影響を及ぼす為、教育をして終わりではなく、その後の行動を行える管理層の育成が重要となる。



セルフメディケーションの推進のための政策立案・実現に向けた要請活動【OTC医薬品委員会】

2020年9月に厚生労働大臣宛に要請書を提出

日薬連 & 一般薬連 (2020年7月)

- 1) セルフメディケーション税制の対象医薬品の拡大
- 2) 手続きの簡素化
- 3) 下限額および上限額の変更
- 4) 制度の恒久化

薬粧連合 (2020年9月)

- 1) セルフメディケーション税制の利用しやすさ向上
 - ◆税制の対象もスイッチOTC医薬品から全てのOTC医薬品に拡大
 - ◆所得控除金額の見直し
(下限額を0円に引き下げ、上限額を10万円に引き上げ)
 - ◆手続きの簡素化
- 2) セルフメディケーション税制の恒久化
- 3) スイッチOTC医薬品の品目拡大

日本OTC医薬品協会とも事前協議し、日薬連 & 一般薬連と足並みを揃えることで要請内容の実現可能性を高めた。



2021年6月要請書提出

- 1) セルフメディケーションに対する啓発活動
- 2) 安全で有効性の高いスイッチOTC医薬品の品目拡大及び自分の健康状態を把握するためのOTC検査薬の拡大
- 3) セルフメディケーション税制をより利用しやすい制度とする見直し継続



2020年9月要請内容進捗状況

要請書の内容に対して見直された内容 (赤字)

- 1) セルフメディケーション税制の利用しやすさ向上
 - ◆税制の対象をスイッチOTC医薬品から全てのOTC医薬品に拡大
非スイッチOTCより4薬効追加、スイッチOTCより4成分除外
→ 対象品目は増加
 - ◆所得控除金額の見直し
(下限額を0円に引き下げ、上限額を10万円に引き上げ)
 - ◆手続きの簡素化
健康診査などの書類提出の省略
- 2) セルフメディケーション税制の恒久化 (5年延長)
- 3) スイッチOTC医薬品の品目拡大
評価検討会議の運営見直し (スイッチ化の可否判断はしない)

業界活動

- ・日本セルフケア推進協議会の勉強会参加
- ・日本セルフケア推進協議会事務局との意見交換会

<日本セルフケア推進協議会>

- ☑2019年1月29日に発足
- ☑興和株式会社代表取締役社長が代表理事
- ☑ドラッグストア、大学の教授などで構成
- ☑セルフメディケーション税制拡大の考え方

全ての医薬品に広げた上で、さらにマスクや消毒液などの衛生用品、血圧や体重計などの測定機器、サプリメントなどにも拡大。

献血啓発【ワクチン・血液製剤委員会】

薬粧連合からのお知らせ
献血活動レポート 第6号



事業所に献血バスを招致しました！

今回は、Meiji Seikaファルマ労働組合の足柄研究所（神奈川県）での取り組みを紹介します。

足柄研究所では2月19日に労使が協力して事業所に献血バスを招致されました！当日は献血に36名の方がご協力され、その内5名の方は初めて献血にご協力されたそうです！

今回献血バス招致の取り組みにおける中心的役割を担った支部役員の高西さんにインタビューしました！！



※献血バスを招致した当日の様子です



高西副支部長
(足柄支部)

Q: 献血バス招致に向けた準備をする上でのポイントを教えてください！

A: 積極的に参加いただけるよう、ポスターを各職場に掲示しました。また、コロナ感染予防のため受付時の手指消毒、体温測定にご協力いただきました。

Q: 高西さんは今回初めての献血だとお聞きしましたが、いかがでしたか？

A: 最初は少し不安でしたが、初めての人は首からカードを下げるよう誘われ、スタッフの方がこまめに体調を気遣ってくださり、安心して参加することができました。痛みもなくなつたという間でした！次回も参加したいと思えます。

Meiji Seikaファルマ労働組合では、他にも横浜研究所、小田原工場、岐阜工場でも献血バスを招致した活動を積極的に実施されているそうです！



※献血のために積極的に外出することをお断りするものではありません。マスクの着用、手指の洗浄に努めるなど感染防止策の実施をお願いします。



■献血ルームの検索並びに予約は下記リンクにてご確認ください
<http://www.jrc.or.jp/donation/>

3 すべての人に
健康と福祉を



献血セミナーの開催案内



<献血セミナー：命の絆>

【日 時】2022年2月15日

【出演者】MC：笠井信輔 アナウンサー

ゲスト：早川史哉 選手

【開催方法】ZOOMウェビナー形式

アクセスURL→<https://zoom.us/j/94195049952>

【献血の現状と献血セミナーの実施趣意】

献血とは、輸血をはじめとする血液製剤も必要とする患者さんのために、健康な人が無償で血液を提供することです。血液は人工的に作る事ができないため、長期保存ができないため、献血への継続的な協力は必要不可欠となります。しかし10年前と比較すると、10～30代の献血率は34%（約60万人）も減少しています。今後少子高齢化が進み、若い世代の献血者が減ってしまうと、将来、必要とされる量の輸血用血液を確保できなくなる可能性もあります。そうならないためにも、日本赤十字社は若い世代に献血とその意義について知っていただく活動として、全国の高校・大学等を対象とした献血セミナーを実施しています。（東京都赤十字血研センター）

6月11日に、東京赤十字血液センターと連携し、第2回の献血会を行いました。



引き続き、ご協力をお願いします。

薬粧連合のワクチン血液製剤委員会でも取り組みを行っていますが、東京都赤十字血液センターさんから献血要請を受け、三井不動産（LINK-J）さんと連携し、ライフサイエンスビルにて献血会を行いました。（2021年1月28日）



今回は緊急の献血会実施にも関わらず、ご協力頂きありがとうございました。皆様から寄せられた血液と温かいお気持ちも患者さんにお届けいたします。

輸血用血液の在庫が逼迫している中、少しでもご協力できると何よりです！今後もご協力させていただきます！

東京赤十字血液センター 己上さんからのコメント

三井不動産株式会社 窪辺さんからのコメント



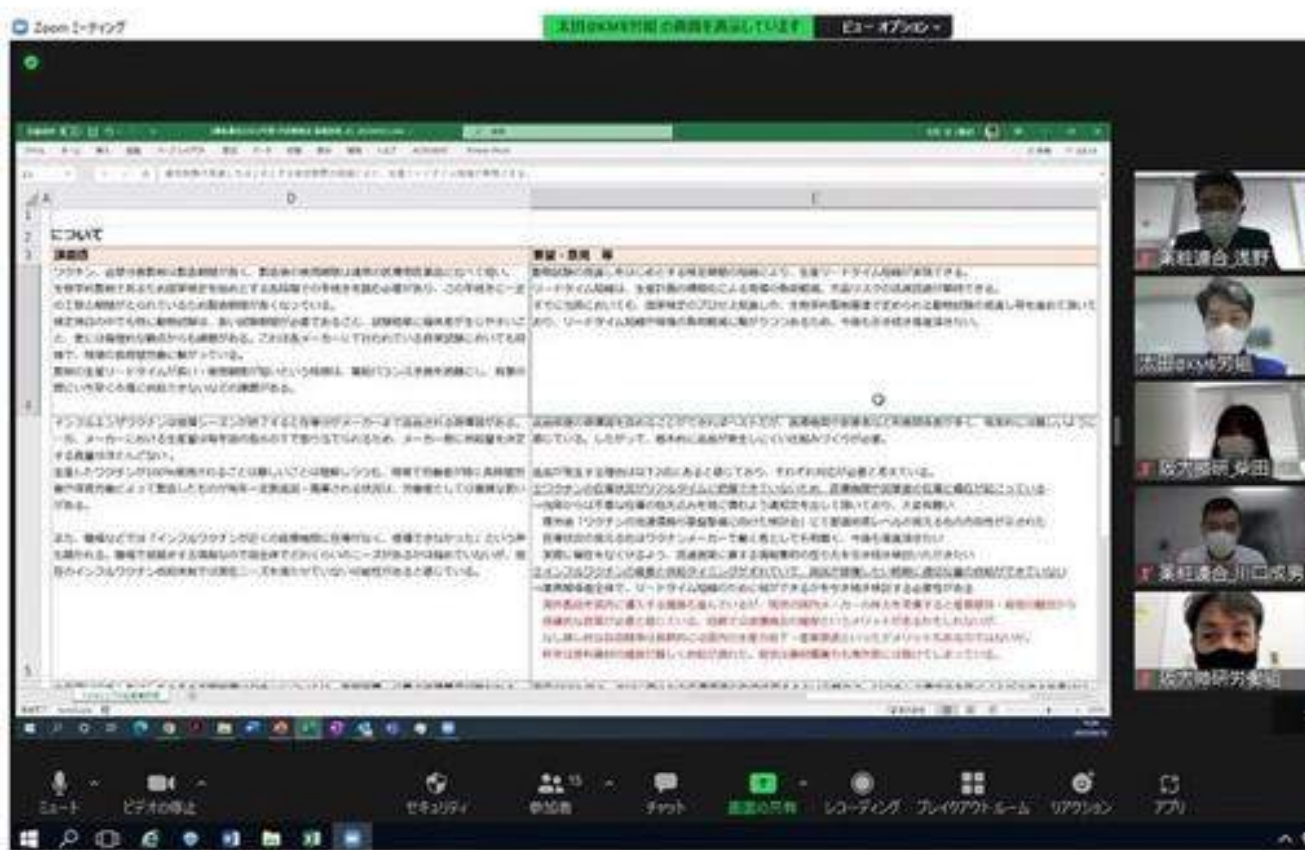
今後も献血会を予定していますので、引き続きご協力をお願いします。

ワクチン・血液製剤の産業政策立案・実現に向けた取り組み 【ワクチン・血液製剤委員会】

西田まこと 参議院議員との意見交換



②産業政策の立案・提言



2022年8月9日

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

医薬化粧品産業労働組合連合会
会長 浅野 剛志

ワクチン関連政策に対する要望

医薬化粧品産業労働組合連合会（以下、業社連合）は医薬化粧品産業で働く約3万4千人で組織する産業別労働組合です。私たちは、革新的な医薬品の創出と、安心安全な医薬品の品質確保と安定供給を使命に、世界の人々の健やかでいきいきとした暮らしに貢献するため、日々、業務に従事しています。

今般の新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、日本国内におけるワクチンの研究開発・生産体制には様々な課題があることが浮き彫りとなり、政府を挙げてその課題解決のための国家戦略を取りまとめて頂いております。振り返るとワクチン業界では、産業発展のための労働者目線の意見・要望を十分にお伝えすることができておりませんでした。今後、感染症の脅威から国民を守り、他国の事情に左右されない強固な産業基盤を築いていく担い手として、働く者の立場から下記項目について要望させていただきます。ご配慮賜りますよう、お願い申し上げます。

要望内容

1. 季節性インフルエンザワクチンの流通改善、並びに国産ワクチン維持支援.....2
2. 「風しんに関する追加的対策」の確実な推進.....3
3. 予見性が低い感染症ビジネスを支えるためのワクチンの定期接種化、任意接種ワクチンに関する情報発信強化.....4
4. ワクチン・血液製剤リードタイム短縮のための国家検定・動物試験の見直し.....5
5. ワクチン開発・生産体制強化戦略（令和3年6月1日閣議決定）の推進.....5
6. 供給義務に対応する企業への国からの支援措置強化.....6

CMO・CDMO業界の更なる発展や問題解決に繋げるための対策・政策の検討【CMO委員会】

3 すべての人に健康と福祉を



CMO業界の課題とその対応策について

- これまでの委員会では整理した問題・課題の再確認
 - 調査が必要な事項・キーワードのピックアップ
- テーマ毎に「あるべき姿」「現状」「問題」「課題」を再確認し、調査が必要な事項をピックアップした



査察・監査の負担に関する実態調査（ヒアリング形式）

【調査概要】

対象者：CMO委員会所属組織の組合員で査察対応をする方（製造部門、品質部門（QA又は試験課））
設問：査察対応（日本当局、海外当局、地方自治体）において、現場で困ったこと、改善してほしいこと

【結果】

- ✓ 全体
 - ・ 査察頻度が多く、査察の時間も長く、通常業務が滞る
 - ・ 査察に管理者が対応するため、現場での作業進行に影響がでる
 - ・ 資料準備のタスク増
 - ・ 何度も査察に来たことのある相手にも一から説明をしており、時間を要する
 - ・ 指摘内容によっては手順が大きく変わり、現場の負担が増加する
- ✓ 日本当局査察
 - ・ 査察日程調整にメールが使えず、FAXでPMDAと調整するので不便
 - ・ 申請手数料の支払いが面倒（指定銀行で支払後に、支払票の貼付が必要）
- ✓ 海外当局査察
 - ・ 資料の英文化に多くの時間を要する
 - ・ 通訳のレベルにより査察進行への影響が大きい

CMO業界の課題とその対応策について

- ・ 2022年度のCMO委員会は、重点課題の抽出に向けて、要検討・確認事項まで議論を進めた
- ・ 要検討・確認事項について、必要な調査や、CMO業界を含む医薬品業界全体のメリット・デメリットを確認しながら、CMO業界が今後どのような方向に進んでいくのかへきなのが将来像も議論し、重点課題の抽出を進めていく



査察・監査の負担に関する実態調査（ヒアリング形式） 続き

【調査概要】

対象者：CMO委員会所属組織の組合員で査察対応をする方（製造部門、品質部門（QA又は試験課））
設問：査察対応（日本当局、海外当局、地方自治体）において、現場で困ったこと、改善してほしいこと

【結果（続き）】

- ✓ 自治体査察
 - ・ 担当官による差が激しい
 - ・ 前回調査で問題がないとされた事項を不備と指摘される
 - ・ 多忙との理由で、製造所の希望するスケジュールで査察を受けられない
 - ・ 複数品目の適合性調査を受ける際、効率面からスケジュールをまとめて実施されることが多く、査察対応者を満足に当て込めない
- ✓ 委託元監査
 - ・ 自治体では指摘されない事でも、委託元のポリシーで指摘されることがある
 - ・ 委託元が多く、そのすべての指摘対応（CAPA）が大変。各社の要求を呑むと手順が複雑化する
 - ・ 委託製品と関係ない項目について指摘される
 - ・ 予定時間を超過して査察を行い、対応者が拘束される

労働組合と政治～なぜ労組が政治をやるのか？～選挙に行かなきゃ何も変えられない、だから選挙に行こう！【FM薬粧連合】

3 すべての人に
健康と福祉を



リモートワーク・オンラインへと働き方が変化して…
労組活動も変えていきます！



遠方の支部の方とも、気軽に情報交換が出来るようになったのはありがたいな！

労組の情報もインプットだけなら、家事をしながらでも出来ちゃうわ♪



労組の上部団体の活動って、知らない人ばかりで、敷居が高くて、参加しづらいなア…

組合員参加型双方向コミュニケーションプラットフォーム「FM薬粧連合」ラジオのように気軽に労組活動について聞くことが出来る（情報提供・問題提起・理解活動）、それに対し言いたい人が意見を言える（フィードバック・意見交換・対話・横のつながり）場所

第一部

- 情報提供、インプット
- 問題提起、投げかけ
- 有識者からの講演

第二部

- パネルディスカッション、インタビュー・対談形式
- 企画メンバーとの意見交換
- 参加者からのQ&A

ラジオのように聞き流しOK
チャットで質問投稿OK
顔出しの発言もOK
途中入退出OK

- ① チャットの質問はいつでもOK！
- ② 新たに発言したい方は手挙げて！
- ③ 発言の際には、ビデオONに！



第一部：スペシャルゲスト講演
中島岳志先生
「労働組合と政治～なぜ労組が政治をやるのか？～」

第二部：ディスカッション
テーマ「労働組合と政治のこれから」
メンバー：
 ・中島岳志先生
 ・薬粧連合 会長 浅野
 ・薬粧連合 副会長 水上、川口
 ・産業政策委員会メンバー
 ・その他、特講者からの参加もOK！



中島 岳志
Nakajima Takeshi
東京工業大学 科学技術創成研究院
未来の人間研究センター
リベラルアーツ研究教育部長

【略歴】
1975年、大阪生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。学術博士（地域研究）。
2005年『中村屋のボース』で、大仏次郎論壇賞、アジア太平洋賞大賞を受賞。北海道大学大学院を教授を経て、現在、東京工業大学リベラルアーツ研究教育部長教授。
著書に『ナショナリズムと永戦』、『秋葉原事件』、『リベラル保守』、『血闘団事件』、『岩波風俗』、『アジア主義』、『現象と日本主義』、『保守と立憲』、『超国家主義』、『自民党』などがある。

FM薬粧連合 特別企画：
選挙に行かなきゃ何も変えられない、だから選挙に行こう！

- ① 候補者の政策を知ろう！
～政策を比較してみる～
- ② 投票してもどうせ何も変わらない
～選挙のからくり、教えます～
- ③ 自分の考えに合う人がいない
- ④ 投票しなければ、変えられない
～薬粧連合の取り組み紹介～
- ⑤ 投票した人が当選しなければ意味がない！？
- ⑥ Q&A
意見交換



法令遵守の強化に向けた実態調査を実施

3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



国内の医薬品産業においてコンプライアンス問題が頻発する状況を受け、法令遵守の強化に向けた実態調査を2022年3月～4月に実施し、20,751件の回答を得た。得られた情報を活動に活かし、より良い環境の整備に努めていく。

医薬化粧品産業労働組合連合会
法令遵守の強化に向けた調査

調査結果報告書
(2022年3月～4月実施)

- ◆コーポレートガバナンスの一翼を担う労働組合の役割を発揮していくことを目指して、法令遵守のより一層の強化に取り組む。
- ◆調査内容は①法令遵守に対する職場風土や個人意識、②労務管理や安全衛生、規律・風紀などのテーマ毎の職場状況確認。
- ◆調査結果は全体的に良好な結果。
- ◆今後はより職場に近い労使で個別具体的に対策する必要があることから、各加盟組合での分析・考察と課題解決に向けた取り組み推進に向けて、加盟組合の活動フォロー中。
- ◆加盟組合毎の法令遵守の強化に向けた取り組みについても加盟組合同士で情報共有し、自組織の活動に活かしてもらっている。

薬粧連合で行った法令遵守強化に向けた取り組み



日程	会議体	内容
調査期間：2022年3月～4月		
中央執行委員会 第4回～第9回		法令遵守の強化に向けた取り組みについて、調査実施状況、結果解析、単組における取り組みについての情報交換や、今後に向けての取り組みの検討
2022年4月23日	第2回単組代表者会議	法令遵守の強化に向けた調査の全体結果について報告：株式会社インブルーヴ
2022年7月22日	組合員向け研修会	研修テーマ： 「アンケート調査のススメ」株式会社インブルーヴ
2022年8月7日、8日	第3回単組代表者会議	「今年度の活動振り返り～次年度に向けて～」において、法令遵守に向けた各組織での取り組みについて意見交換
2022年8月28日	第4回ユニオンいきいきミーティング	「法令遵守の強化に向けた取り組みについて」 1. 事例報告（エーザイユニオン、興和労働組合、三和化学研究所労働組合） 2. 法令遵守調査に関わる支援セミナー（株式会社インブルーヴ） （1）設問構成の説明（2）調査結果の活用 3. グループディスカッション

産業の健全な発展に資する政策立案のための研鑽活動 【政策人材育成分科会】



目的：薬粧連合の産業政策推進を担う次世代のリーダー育成

前提：政策人材を育成するための教科書やロールモデルはなく、政策を進める上での全ての事象に正解はない。民主主義国家において政策を実現するということは、多数の支持を受ける必要があり、その政策が人々を幸せにするためにも、国民の理解、賛同を得る必要がある。このプロセスの最初が政策の検討であり、本会はフラットな立場で意見交換を行い、互いに学び合う場とする。

意見交換テーマ（2022年度のみ）：診療報酬・薬価改定・選挙、など下記以外にも実施。

●フェルミ推定「日本に散髪屋（理容室・美容室合わせて）は何軒あるか？」

民主主義的な合意形成を学ぶワークを実施した。民主的な話し合いで合意形成を図ることは、**まさに政策決定のプロセス**と同様で、その中における人の気持ちの変化や心理について、体験しながら学ぶ機会となった。

●「ゲーム理論＝囚人のジレンマ」

民主主義と資本主義の原理や、これらのメリット、デメリットを歴史的な事例を挙げながら紹介し、これらのバランスをとるためにも政策が重要であることを紹介し、意見交換を行った。

●政治と経済/国家介入と市場経済

資本主義社会において国家が介入する際に、自由競争と弱者救済を両立させることは困難である。**政策実現のために必要とされる犠牲**（レジ袋有料化に伴う業績悪化、非正規雇用増加社会の日本など）について議論した。また、政策への反対運動における自らの主張に反した行動（環境問題への抗議行動の矛盾など）について意見交換した。

●政策課題の解決のために必要な寛容さとは？

政策実現のためには何が必要か。人間の認知・記憶は曖昧であること、目的が同じでもプロセスが異なれば対立すること、多数決による民意が必ずしも正しいとは限らないこと、などを踏まえ、**人がお互いに理解し合うために必要なもの**について意見交換した。

難病のお子さんご家族との取り組み（ドキュメンタリー映画上映会、ウィッシュバケーション&LEA研修）【社会貢献委員会】



私たちの
目指す姿

難病を患うお子さんと家族との対話を通じ、
難病の知識や情報だけでなく、現実や本質を理解する

● 映画『 Given ～いま、ここ、にあるしあわせ～ 』（約100名参加）

【日時】：2022年3月12日

【内容】：難病を患う家族（3家族）のリアルなドキュメンタリー映画

“生きる”とは？“本当のしあわせ”とは？・・・など大きな気づきを与えてくれる

【目的】：難病を患う子どもと家族のリアルな日常や想いを知ること、
またそれによって今後の日常生活でのちょっとした行動の
変化に繋げていただく



当日はHope&Wish大住代表からも
ご講演いただきました



● 参加者の声

- ✓ 自分に何かできることはないか、考えるきっかけになった
- ✓ 今を大切に、全力で生きることの大事さを学んだ
- ✓ 「幸せとは何か」を考えさせられた、製薬企業社員として改めて何のために仕事をしているのか考える良い機会になった

● Hope & Wish主催ウィッシュバケーション&LEA研修

【内容】：旅行中の身体的ケアや金銭的な面での負担なく、難病を患う子どもとそのご家族全員に楽しんでいただくバケーション。

【目的】：ご家族と行動を共にし、直接体験することにより、これまでの固定概念や思いこみから脱却し、真の学びを習得する

● 参加者の声

- ✓ 健全な生活を送る私にとって考えもつかない価値観があった。相手の立場にたつて物事を考えることの大切さに気づいた。
- ✓ 障害のある方の家族の苦労や厳しさ、喜びなど普段感じれないことを感じる事ができた。
- ✓ この研修で得たものはたぶん一生忘れないと思います





「現役アナウンサーが教えるオンラインでの伝え方の極意」 セミナー開催【営業委員会】

8.31(水)

18:00
START!

ZOOMにて開催

FM 薬粧連合

オンラインでの会議や面談も当たり前
の時代 “自己流”のやり方で不安になること、
ありませんか？



- カメラの角度これで良いの？ 印象の良い“映り方”は？
- オンラインで聞き取りやすい声ってどんな声？ 惹き付けるコツは？
- 対面とは違って、オンライン営業や会議で気を付けるべきこととは！？

そんな疑問を “画面を通じて伝えるプロ” が解消します！

Zoomミーティング参加は[コチラ](#)をクリック！

ミーティングID: 883 2324 7769、パスコード: 845598

アナウンサー&講師の全国コンテストで共にNO.1に輝いた

現役アナウンサーが教える
オンラインでの
伝え方の極意



200名以上の方に参
加いただきました。
ボイストレーニングの
実演など、現場です
ぐに使えるテクニックを
教えていただきました！

MRのみなさん必聴です！

関西テレビアナウンサー
ゲスト:石田一洋

テレビではニュースの他、プロ野球日本シリーズや競馬G1、大阪国際女子マラソンなど全国ネット中継で
実況を担当。フジテレビ系列アナウンスコンテストにて実況日本一に輝く。また、全国講師オーディションで
グランプリも獲得。企業向けに「オンライン・動画時代の伝え方」「人を動かす技術」などの研修を提供。
著書に「一生モノの伝え方が身につく説明の技術」(総合法令出版)

PR Meeting【総務unit・広報】



薬粧連合 PR活動の意義・目的



■PR活動の意義
活動の理解・浸透を通じて、組織内外のステークホルダーとの間に信頼関係を築く
(ステークホルダーとの信頼関係は信頼や目指す姿実現の礎となるため)

■PR活動の目的と達成に向けた筋道
組織内：活動の理解・浸透を通じて、組織を活性化させる

- ①薬粧連合からの情報発信と加盟組合(組合員)からのフィードバック(ex.薬粧イベントへの参加etc.)のサイクル構築
- ②加盟組合にとっての有益情報の整理と円滑かつユーザーフレンドリーなアクセス確保
- ③薬粧連合と加盟組合協働でのコンテンツ活用・参画を通じた関係性強化(薬粧連合⇄加盟組合、加盟組合同士)

組織外：組織と活動を知ってもらうことで、理解者を増やす

- ①社会に向けた適宜適切な情報発信
- ②組織外ステークホルダーとの関係性強化

組合員の皆さんが「触れて、知り、考え、動く」労組活動であらう

このたびは薬粧連合として、加盟組合の広報担当者様と対面したセミナーを開催することとなりました。
薬粧連合のこれからの広報活動についてアイデアをたくさん出し、また加盟組合の広報活動の活性化レベルアップ、そして広報活動の質と人のスキルアップも目的として、全3回のコースで開催します。
サテゲーターは、これまで連合や行司機関など、多くの団体の広報活動を支援してきている「アプロココミュニケーションズ」の協力を得ています。
是非、奮ってご参加ください。

※参加費は無料です

【日 時】 第1回：5月21日(土) 9:00-12:00
昼食提供・意見交換
「伝わる」から「信じる」へ

第2回：6月9日(水) 18:00-19:30
スキルアップ①

第3回：7月14日(水) 18:00-19:30
スキルアップ②

【形 式】 ZOOM Meeting (毎日連絡)

【講 師】 株式会社アプロココミュニケーションズ 代表 西野純彦 様

【場 所】 加盟組合ごとに各自様のご都合ください



【各回のテーマ】

- 第1回「考え方とコミュニケーション」
 - 第2回「ライティング」
 - 第3回「デザイン」
- 各加盟組合の広報誌を実際に見ながら、作り手の思いや工夫、悩みも含めてプレゼンテーションいただいた後、講師よりアドバイスをいただきました。

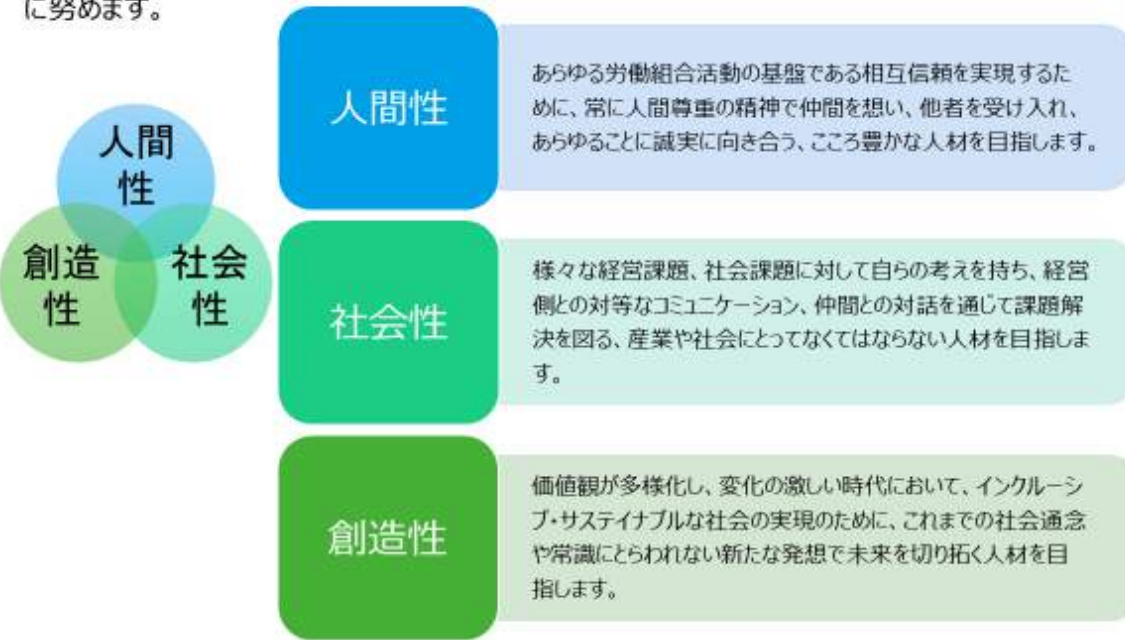
SDGsの共育機会として「SDGs研究会」の設置提案

【共育研修委員会】



共育研修委員会が育みたい「3要素」

薬粧連合は、その理念として掲げる綱領の実現を目指し、薬粧連合役員、加盟組合労組役員、組合員の各層に対し、「人間性」、「社会性」、「創造性」にあふれる人間力豊かな人材の育成に努めます。



SDGs研究会の設置背景・目的・活動内容

<背景>

SDGs(Sustainable Development Goals) = 持続可能な開発目標

- 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。先進国・発展途上国やあらゆる政府・企業・個人に関わらず、取り組むべき目標として掲げられている。
- SDGs達成は企業としての経済活動や社会貢献活動のみならず、この地球上に生きるすべての人に関係する行動目標である。
- SDGs達成に向けて、私たち労働運動・労働組合活動に携わる人材、社会を率いるリーダーを育成する労働組合にとっても必須の取り組みである。

<目的>

- 本研究会の参加者が、SDGsを調査研究し今後の労働組合としての具体的な取り組みを考察することで、自らの役割として社会課題解決に積極的に関わり、解決を目指す真のリーダーを育成することを目的とする。
- また、本研究会からの薬粧連合への提言をもとに、薬粧連合に集う一人ひとりが行動を開始・継続することを副次的目的とする。

<活動内容>

- SDGsの調査研究、労働組合として取り組むべきことの考察と提言

TOEIC、やる気・元気・勇気・点数が上がる勉強法とは？ 決算書の読み方【FM薬粧連合】



TOEIC、やる気・元気・勇気・点数！？が上がる勉強法とは？



こんなことをやりました

TOEIC +200PJ (2020/1~ Total 15回)

1. 自己学習時間の確保
 - 平日30分+聞き直し
 - 週末は1日2.5時間は学習時間を確保！
2. スケジュールを事前に確保
 - TOEIC試験（本番）はすべて受験必須に
 - 勉強会は1-2回/週 朝活 or 昼休み
3. 決められた教材以外はやらない！
 - 語彙：金のフレーズ（730点レベルまで）
 - 文法：でる1000（毎日5問）
 - 問題集：公式TOEIC 問題集 2-3冊を反復学習
4. 模試の実施
 - 公式問題集を中心に本番に近い環境で模試を実施

アステラス労働組合 本部専従役員の皆さん



三枝 真吾さん



吉田 麻衣さん



鈴木 愛依子さん



「幸福学 (well-being) をテーマに単組役員研修会開催 【共育研修委員会】



「幸福学(well-being study)」の基礎

・「地位財」型の幸せ＝長続きしない！

- ・地位財＝他人と比べられる財
- ・金、モノ、社会的地位 ……金銭欲、物欲、名誉欲の源泉

・「非地位財」型の幸せ＝長続きする！

- ・安全など、環境に基づくもの ……社会的に良好な状態
- ・健康など、身体に基づくもの ……身体的に良好な状態
- ・心的要因(幸せの4つの因子) ……精神的に良好な状態

1. 自己実現と成長(やってみよう因子)、強み、主体性
2. つながりと感謝(ありがとう因子)、利他、多様性
3. 前向きと楽観(なんとかなる因子)、チャレンジ精神
4. 独立と自分らしさ(ありのままに因子)、自分軸



■VUCA時代において漠然とした不安感がある中、キャリアデザインを前向きに捉えるために大切にすべきものは何か。

■ニューノーマル時代ではキャリア開発がどう変化しているか。個人・組織はどのような行動や思考が必要か。

■キャリア開発に必要な「学び」とはどのようなものか。(学び続ける大切さ、仲間と共に学ぶこと、モチベーションの継続、一歩踏み出すきっかけ作りに必要なことなど)

■組合員が幸せに働き続けられるために、労働組合が実施すべきこれからの支援の在り方とはどのようなものか。(仕事への幸福度を高めるための知見や、自発的にキャリア開発に取り組むきっかけをどう作り、促していくのか)

幸福感とパフォーマンスの関係

創造性
生産性

幸福感の高い社員の
創造性は3倍、生産性は31%、
売上は37%高い
(Luthansky, King, Dierker)

欠勤率
離職率

幸福度が高い従業員は
欠勤率が41%低く (Deaton, 1999)、
離職率が59%低く (Deaton, 2000)、
業務上の事故が70%少ない (ワークラップ)





新任役員セミナー開催【共育研修委員会】

東京・関東甲信越ブロック合同
新任役員セミナー

これからの労働組合の 意義（存在理由）と機能（役割）

junior株式会社

© junior, All rights reserved.



プログラム

時間	内容
17:30~	ZOOMへの入室開始
18:00~18:10	オリエンテーション・開会の挨拶
18:10~20:00	服部氏による講演・グループディスカッション
20:00~20:10	閉会の挨拶・アンケート

- 対象：東京・関東甲信越ブロックの支部役員（就任予定含む）
- テーマ：「これからの労働組合の意義（存在理由）と機能（役割）」
- 目的：支部や職場における組合活動の意義や役割について学び薬粧連合に参画する各労組の支部役員の成長を支援すること
- 講師：である服部 恵祐 氏（Jユニオン株式会社の代表取締役）
- 内容：講演・グループディスカッションを行なって頂きました。
- 備考：終業後にもかかわらず50名を超える方々にご参加いただいた
好評を得たため次年度より定期的に開催



労働組合としてのキャリア支援を考える【中央執行委員会】

医薬品化粧品産業労働組合連合会

労働組合としての キャリア支援を考える

2021年5月17日

株式会社ラッセルズ 代表取締役社長 網本 将之
株式会社きざはし 代表取締役社長 吉田 善実



- 講師：株式会社ラッセルズ 代表取締役社長 網本 将之 氏
株式会社きざはし 代表取締役社長 吉田 善実 氏
- テーマ：「労働組合のキャリア支援を考える」
- 内容：「製薬企業を取り巻く環境変化」、「働く人たちの直面する変化」、
「労働組合のキャリア支援の意義」について中央執行委員会メンバーで
グループディスカッションを実施

安全衛生・健康経営、勤務間インターバル、メンタルヘルスの取り組み【安全衛生委員会】



薬粧連合の安全衛生に関する考え方

- 労働者にとって安全な職場で、健康に働くことは基本的な権利である。企業による安全衛生活動には、最低限の法律による規制はあるものの、その取り組みは企業によって差があることが窺える。また「労働安全衛生法」や政府から示されている「労働災害防止計画」の中では、労働者の参画、協力が求められている（※）。さらに薬粧連合は「働く人たちの幸せ」という幅広い観点から主体的に安全衛生活動に取り組むことが必要であると考えます。
- 安全衛生活動には、十分な活動や投資をしたからといって労働者の業務上災害や健康不調を防止できる絶対的な手段はなく、活動を継続的に改善し、形骸化させることのない労使の日々の努力が必要である。また、労働者にとって安全かつ快適な職場で健康に働くことは、意欲や活力となることはもとより、会社に対する信頼感や職場に対する満足感が生まれ、結果として会社の生産性向上に繋がるものと考えられる。したがって、経営的にもメリットがあることを労使で確認し、主体的な安全衛生活動の取り組みを進めていく必要がある。

組合員対象セミナー

加盟組合の組合員を対象に、ダイバーシティ&インクルージョン、メンタルヘルス等、さまざまなテーマで組合員の知識や活動の理解を深める機会を設けています。



▼セミナーでは組合員向けメンタルヘルスチェックリストが配布されました。

▲メンタルヘルスセミナー
(講師：藤野 裕道)



本資料の位置づけ

- 本資料は春の取り組み方針における補足・参考資料として、安全衛生委員会が作成したものである。
- 薬粧連合の所属組織が、勤務間インターバル制度の導入に向けた検討を行うに当たり、参考となる資料として作成したものである。
- 取り扱いについては、所属単組の情報が記されていることを踏まえ単組内で事前に決めた上で共有・展開を行うものとする。

勤務間インターバル制度とは？

- 「勤務間インターバル」は、勤務終了後、一定時間以上の「休憩時間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保するものです。2018年6月29日に成立した「働き方改革関連法」に基づき「労働時間等設定改善法」が改正され、前日の終業時刻から翌日の始業時刻の間に一定時間の休息を確保することが事業主の努力義務として規定されました（2019年4月1日施行）。

安全衛生委員会からの提言

- 制度導入の設計のポイントは、まずは3点
 1. インターバルの時間数
 2. 例外の設定有無および内容
 3. 勤務開始可能時刻が、翌日の始業時間に及んだ場合の取り扱い
- インターバル勤務の検討の前に健康面・生産性の観点において、労働時間と通勤時間が大きく影響していることが示唆されていることから、まずは時間外労働時間、通勤時間、インターバル時間の把握などを労使で調査することを薦めたい。
- 健康面・生産性の観点から概ね7-8時間の睡眠の確保ができるように制度導入の検討、啓発活動を講じていくことが良いと考える。
- そのため各社の通勤時間の実情等に応じて、7-8時間の睡眠時間と必要なプライベートな時間を見込み検討を行うと良いと考える。
 - 首都圏の平均通勤時間100分(50分仕事) + 1時間(食事、洗濯等) + 7.5時間睡眠とすると10-11時終りインターバル時間とするのは、働き方改革の観点から考えます。



男性育休を考える【FM薬粧連合】



・登壇者：

育休を取得したご経験のある方々

第一三共G労連 九町さん、中外労組 仲川さん、
KMバイオロジクス労組 中上さん、
アステラス労組 桑本さん

- ・内容：育休に関して伺い、体験談をお答えいただいた。
- ・156名の皆さんに参加いただき、家族の大切さや仕事と家庭、双方を如何に充実させていくかを考えるいい機会になりました。

<主な体験談・ご意見>

- ・育休を3回取得したが、その間に会社の育休取得に関するサイトが徐々に整備されていった。
- ・育休取得した2週間はあっという間に終わってしまい、「ご利用は計画的に」すると良い。
- ・妻と時間制で役割分担をして、お互いがしっかり睡眠時間を確保することが重要。
- ・育休取得して、やることの多さを初めて知った。ちょっと手伝っただけでやる気になっていた自分が恥ずかしい。
- ・いくら頑張っても、ママじゃないとダメという場合があるのは仕方がない。
- ・パパが子供に甘い！（ママがあえて子供に許可を与えていないこともすぐ許してしまう）
- ・男性は、育児の協力者ではなく当事者として育児に取り組むことが大事
- ・無理に育休取得をして育休の前後に残業するよりも、育児の期間にしっかりと定時に帰って家族との時間を確保する方がいいかもしれない。
- ・家事が出来なくても、やろうという姿勢、気持ちが一番大事。
- ・職場の仲間に出産を控えた人がいたら、「頑張れよ」ではなく、「休んでいいよ」という声掛けが出来るようになるといい。



単組役員ゼミ（ダイバーシティ&インクルージョンとは～なぜ推進するの？ 自分に何ができるの？～）【共育研修委員会・D&I委員会】

単組役員ゼミとは？

【目的】

業社加盟組織の共育活動の充実化を目指すこと

<特徴>

- ・「共育」を実践する場として、参加者同士が気軽に学び合える場として開催
- ・毎回、様々なテーマを設定の上、ディスカッションを通して学ぶ
- ・企画・運営が自組織内で完結するため、そのまま単組での活用が可能



ダイバーシティとは？

例えば...



経済産業省が取りまとめた「ダイバーシティ2.0」では、ダイバーシティ経営を企業が勝ち残っていくために積極的に取り込むべき「成長戦略」に位置付けている。正産業労働組合連合会

研修委員会
共育研修委員会
単組役員ゼミ

ダイバーシティ&インクルージョンとは

～なぜ推進するの？自分に何ができるの？～

開催日 2022年7月11日(月) 18:00～19:00

無料 不要 本部・支部役員

近年、企業の成長戦略として、また、従業員が生き生きと働く上でも「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進」が注目されています。そもそもD&Iってなんでしょう？推進する必要があるのでしょうか？そして、推進の障壁はどこにあるのでしょうか？本ゼミでは、D&Iに関する基礎知識を得ることや、ゲーム形式で楽しみながら多様性を体感することができます。ぜひ一緒に、私たち一人ひとりができることを考えてみましょう！

多様な価値観に触れよう！

研修コンテンツの参考に！

このイラストは「普通」の家族... でしょうか？



- 男性は力強い...
- 男の子は青、サッカー...
- 女の子はピンク、スカート...
- 赤ちゃんを抱っこするのは女性...
- 男女が結婚する...

「普通」だと思っていることは本当にそうでしょうか？

視聴方法



Zoomミーティングに参加する
<https://us02web.zoom.us/j/84420963479?pwd=UzR0S05hWVYyQzQ2cENRbDlPLkR6GjE3RRR0Zm91>
 ミーティングID: 844 2096 3479
 パスコード: 232138

- プログラム -

1. D&Iとは？ ～必要性と推進の障壁～
2. クロスロード・ダイバーシティゲーム
～D&Iを体感しよう！～

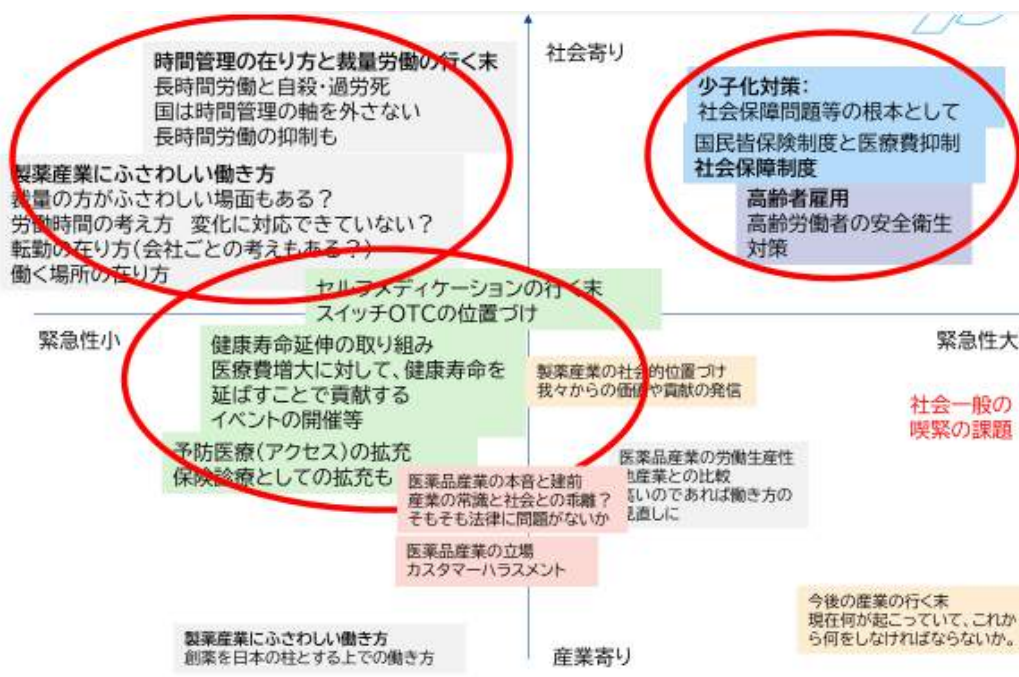
※小グループに分かれてゲーム形式で意見交換をします。
 ※詳細は案内状2ページ目をご覧ください。





「少子高齢化と社会保障制度の持続性」、 「アドボカシー」、「これからの働き方」の具体策検討 【社会労働政策委員会】

社会労働政策委員会の位置付けと役割・機能(イメージ)



<社会労働政策委員会の位置付けと役割・機能>
 ▶ 関係と協働して社会政策・労働政策の立案を行い、その政策実現に向けて対外的な取り組みを実施する。
 ※ただし、他の専門委員会等に強く頼ることもあれば、他の委員会に対外的な取り組みを行うことも優先する/対応あり

社会労働政策に関して、薬粧連合として取り組むテーマとして以下3テーマを抽出、具体策を検討

- ①少子高齢化・社会保障制度の持続性に対する対応
- ②健康寿命の延伸・予防医療等、医薬品産業の貢献と社会に対するアドボカシー活動
- ③社会変化に伴うこれからの働き方

賃金・総合労働条件(春の取り組み・労働条件意見交換会)

【労働条件委員会】

8 働きがいも
経済成長も



薬粧連合の春の取り組みで大切にすること

医薬化粧品産業の健全な発展
働く人々の幸福の追求

春の取り組み

加盟組合が一体となった
情報連携による組織強化と
労使交渉力向上

労働条件の維持・改善
による豊かさの向上

労使交渉・協議の高質化
による労使関係の発展

役員同士の深い議論と意
見交換による役員の成長

企業の生産性と付加価値創造の向上を目指す

2022春の取り組みの年間活動

9月～12月

- 労働条件意見交換会（11月）にて、**春取方針（案）**を提示し意見交換。また、加盟組合の労使交渉・協議事項に対する意見交換を実施

1月～3月

- **春取り組み方針、賃金実態調査の送付（1月）**
- ユニイキ（2月）にて、労使交渉・協議方法等に関する意見交換

4月～9月

- ユニイキ（5月）にて、**結果共有・振り返りと次年度に向けての意見出し**
- 労働条件委員会において春の取り組み検証

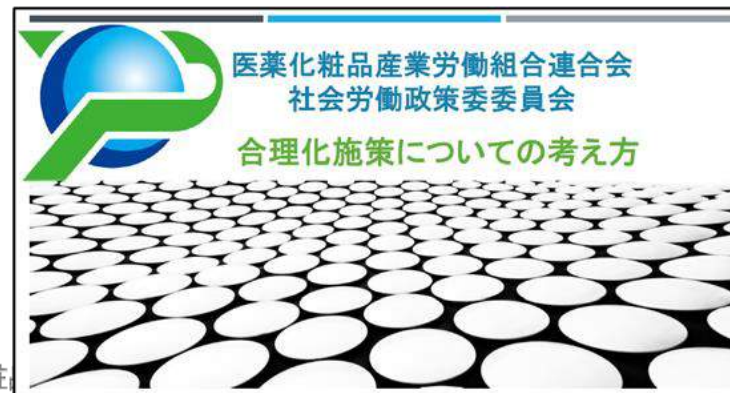
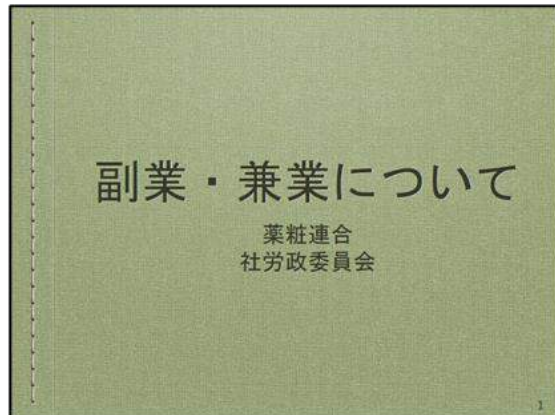
【労働条件意見交換会】

- 加盟組合による労働条件維持・改善に向けた活動の実効性をより高めることを目的とした取り組み。
- 労働条件委員会メンバーから春の取り組み方針(案)について説明を行い、その後グループディスカッション実施。
- グループディスカッションの第二部では、各組織の労働条件整備の状況、今後の方針についても意見交換実施。

労働政策の立案、取り組み方針、各種指針策定

【社会労働政策委員会】

- ✓労働条件の方針として「兼業・副業」、「治療と仕事の両立推進」についての取り組み方針を検討・策定
- ✓労働組合としての基本となる考え方として「賃金に対する考え方」、「雇用に対する考え方（合理化対応含めて）」を検討・策定



単組役員ゼミ(働くとは)【共育研修委員会】

8 働きがいも
経済成長も



薬粧連合
共育研修委員会
単組役員ゼミ

あなたにとって『働く』ってなに?? ～自身のキャリア、組合活動に活かせるお気軽ゼミ～

参加
無料
申込
不要
参加対象
本部・支部役員

開催日 2022年4月6日(水) 18:00～19:00 Can

Must

「人はパンのみに生きるにあらず」-聖書に出てくるイエス・キリストの言葉で「人間が生きていくためには、物質的満足だけでなく精神的満足・充実も大切である」という意味です。私たちはただ食べるために働くよりも、何か意味を満たすように働きたい。でも、その「働く意味」とは何なのでしょう。そういう大きな問いを考える前に、明日までにやらなければならない業務に忙殺され、1年、3年、10年が過ぎていく…。変化が激しく、不安が多い世の中だからこそ、今一度、立ち止まって考えてみましょう。本ゼミを通して、皆さんが自分自身を振り返る機会、また、多様な価値観に気づく機会をお届けできれば幸いです。

あなたにとって、「とても大切」と感じる価値観は何ですか？

お金	自己実現	社会貢献
スキルアップ	生きがい	世間体

私にとって
働くって何？

キャリアについて真剣
に考えたい人に！

多様な価値観
に触れよう！

研修コンテンツ
の参考に！

- 当日のプログラム -

- ・自身が大切にしている価値観の振り返り(個人ワーク)
- ・「働く意義」についての探求 ※ディスカッションあり

単組役員ゼミとは？

【目的】

薬粧加盟組織の共育活動の充実化を目指すこと

<特徴>

- ・「共育」を実践する場として、参加者同士が気軽に学び合える場として開催
- ・毎回、様々なテーマを設定の上、ディスカッションを通して学ぶ
- ・企画・運営が自組織内で完結するため、そのまま単組での活用が可能





- いきいきとした研究開発職社員を増やすための取り組み
- 組合員意識調査に評価FB関連Q新設【研究開発委員会】

研究開発職社員を“いきいき”させるための、4つの指針



本質的課題と4つの指針の構図



評価FBアンケートの推奨設問

“いきいき” としないときってどんなとき？

- ✓ 自分のやりたいことを見失っている時
- ✓ 仕事の意味を感じない時 (mustがあるのは理解するが)
- ✓ 自分の仕事に納得できていない時
- ✓ やらされ感が強い時
- ✓ 会社から期待されている行動と自分のやりたいことがマッチしていない時
- ✓ 正当な評価がなされていない時 (フィードバック内容が納得いかない時)
- ✓ 評価に繋がるイベントに巡り合えない時
- ✓ 属人的に機会が回ら振られていると感じるとき (透明性を高める)
- ✓ 結果失敗したとしても挑戦したことが評価されないとき
- ✓ 周囲に自分の仕事が認められていない時
- ✓ 将来に対する漠然とした不安を感じている時
- ✓ 自分に自信がない時
- ✓ ざっくり腰で動けない時 (心身ともに健康でない時)
- ✓ 自分に余裕がないとき
- ✓ 職場の人間関係が悪いとき
- ✓ mustが多すぎるとき
- ✓ 目先の仕事に追われているとき
- ✓ 心理的安全性が低いとき

逆的に課題を再抽出
↓
本質的な課題解決に向けた
取り組みの指針を見える化
する



次年度の取り組みとして、上記4つの観点を踏まえた目標・評価FB面談に関する設問を作成し、2022年秋に実施予定の薬粧連合アンケートに組み込むことを提案したい。

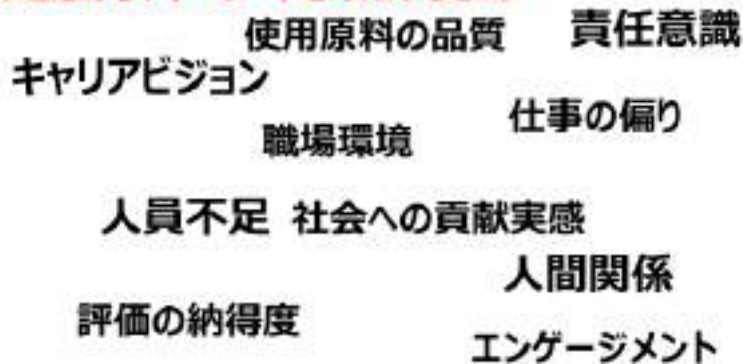
生産部門での働きがいが高めるため「自己認識・他者承認の促進」をテーマにセミナー開催【生産委員会】



生産部門におけるやりがいの阻害要因の確認



課題感から、キーワードを分類すると...



やりがい阻害要因の解決のために



今年度の取り組み

活動案

エンドユーザーの話聞く機会の提供

SNSで発信されている情報

この薬がないと困る、助かった。
といった感謝の声を間接的に得ることができる

医療現場へ出向き、現場の感覚を見る

医療現場でどのように生命維持に繋がっているのかを直接使用しているドクターや看護士から話を聞く
実際に使用している状況を見る

直接医療現場に行くことでその肌感覚を感じることができる

患者団体セミナー

実際の患者さんの感謝の声を直接聞く

自社MRとの交流会

営業委員会で、自社製造の品質の高さ、レベルの高さを感じたという経験談があった。
このような話を直接生産現場に聞いてもらう。

製薬協産業政策研究所との連携

https://www.ijma.or.jp/opin/pdf_article_073_01.pdf

医薬品の社会的価値について整理体系的に整理していく
意見交換をする場を設定し組合員に対する活動を検討する。

やりがい阻害要因の解決のために

今年度の取り組み

社会への貢献実感

- ・患者さんとの距離が近い事、自身の業務が社会にどれほど貢献しているのを感じる機会が少くない。
- ・医療調査アンケートの結果からも、生産部門がほかの職種と比較してポイントが高い

レンガ職人の物語



生産部門では、作業の特性上、GMPやそれに伴うSOP（標準作業手順書）等の制限が多い。

⇒レンガ職人の物語で言うと①や②の考えが多いのではないか。
少しでも③をイメージできるような取り組みを実施したい。

製造現場での承認風土の醸成に向けた取り組み

「日常のコミュニケーションの中に「承認」を！ やる気引き出す具体的な方法とおさえたいポイント」

～やりがい・働きがいのある生産現場を目指して～



2022年

10月19日（水）18:00～19:30

開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

参加費：無料

申込方法：コトダマより参加登録ください。
欠席連絡不要です。まずはご登録を！

講師：太田 肇 先生（同志社大 経済学部 教授）

医薬品の生産現場で働く方がよりやりがい・働きがいを持って働くためのヒントとは、管理職や組合員、両方の立場はどのようなことを意識することが大切か、先生には現場の生産員視点で聞いていただくと学びたいと思います。

後日、質疑し放題（アンケート）を実施していただき、ご意見をいただくために、参加費が0円とさせていただきます。上記よりご登録ください。ご不明な点などございましたら右記の担当役員までお問い合わせください。

主催：製薬化粧品産業労働組合連合会 生産部門委員会



「MRがイキイキと働く環境を整え、一人ひとりが高い価値を生み出すことを後押しすることで患者貢献につなげる」ためにMR交流会を開催【営業委員会】

＜意見交換テーマ＞

必須テーマ

現場のコミュニケーション

ワークライフバランス

+

選択テーマ

これからのMR像

今後のキャリア

MR交流会参加者の反応

他社の状況を聞くことができたので参考になった。特にフレックス制度を導入されている会社の状況を聞くことができたので参考になりました。

コロナ禍になり、WEBだけのコミュニケーションでの良さ・弊害も出てきているので、自分だけでなく他者視点での意見交換ができた為。

会社間、担当地域間の違いもいろいろとあったが、それぞれの創意工夫を知れて勉強になった



WLBのテーマは世代間で様々な考え方があることを改めて学びました。

皆さんのキャリア感がとても多角的で参考になりました。また自分自身の思い描いているキャリアを言葉にすることで頭の整理にもなりました。

これからのMRについてポジティブな意見交換が出来たので勇気づけられた。



OTC医薬品産業で働く仲間の環境改善に向けた取り組み

- ① 育児と営業外勤職の両立検討、② OTC営業職特有課題検討
 - ③ 女性営業職社員座談会開催、④ 小売との意見交換会に向けて
- ## 【OTC医薬品委員会】

【OTC医薬品産業で働く者の環境改善に向けた取り組み】

➢ OTC 医薬品産業で働く者の環境改善に向けた取り組みについて昨年から掲げている「育児と営業外勤職の両立」をテーマに議論・検討を重ねた。

<具体的な活動>

- ・女性営業職社員座談会の実施
- ・小売業との意見交換会の計画(2023年度実施)

【4/26開催 女性営業職社員座談会】

- 当日参加者： 傾聴者18名、登壇者3名、オブザーバー6名
- 開催方法： リモート開催

労組名	部署	労組名	部署
傾聴者		登壇者	
ロート製薬労働組合	HB近畿販運事業部	ロート製薬労働組合	丸ステージスキンケア部
ロート製薬労働組合	HB近畿中部事業部	ロート製薬労働組合	HB西日本事業部
ロート製薬労働組合	HB首都圏事業部	第一三共ヘルスケア労働組合	営業統括部 第一営業部
ロート製薬労働組合	HB首都圏事業部	オブザーバー	
ロート製薬労働組合	HB中東企業部	小林製薬労働組合	中央執行委員長
ロート製薬労働組合	流通統括部	エーザイユニオン	支部執行委員
エーザイユニオン	営業統括部	シオノギグループ労連	幹事・シオノギヘルスケア労働組合執行委員長
エーザイユニオン	第1営業部	第一三共G労連	中央副執行委員長
エーザイユニオン	営業統括部	第一三共ヘルスケア労働組合	中央執行委員
興和労組	本社支店	興和労働組合	中央執行委員
興和労組	本社支店	ロート製薬労働組合	中央執行委員
興和労組	西日本支部		
興和労組	西日本支部		
シオノギヘルスケア労働組合	アカウントセールス部		
小林製薬労働組合	広域第二営業部		
小林製薬労働組合	中部営業部		
小林製薬労働組合	大坂営業部		
小林製薬労働組合	中部営業部		
小林製薬労働組合	九州営業部		



第4回：OTCの営業職の課題について

※次年度のテーマになり得るかを検証

- ① 業務の削減・効率化
- ② 柔軟な働き方
- ③ 方針・活動の納得性
- ④ 評価制度
- ⑤ 適切な人材配置
- ⑥ 円滑な人間関係

【小売との意見交換会に向けて】

経緯

- **育児(特に育休後の復職される女性)と仕事の両立**

OTC業界のメーカー側と、小売側(お得意先様)との関係性が働き方に大きく影響することが座談会を通じて再認識…

→小売側の「**育児や介護と仕事の両立(ワークライフバランスの向上)**」に向けての考え方・課題を理解することで、今後OTC委員会での取り組みに活かしていきたい。

- **SDGs観点**

メーカー側と小売側での課題(特に**返品・廃棄**)を共有し、解決策の検討をしていきたい。

(例:「製配販連携協議会」の所属労組と協議など)

共生社会実現に向け、障がいを持たれる方の支援活動検討 知的障害疑似体験セミナー、演奏会開催【社会貢献委員会】



- 意見交換・見学（障がいを抱える方々が必要としている支援や社会への期待を伺う。
 - ✓ 新宿区障害者福祉センター
 - ✓ 障がい者同士の交流の場としてだけでなく、企業から依頼を受け作業する作業所も設置
 - ✓ てみるファーム
 - ✓ 生薬の栽培、加工、販売を通して通じて障がいをお持ちの方々の就労支援
 - ✓ ココワーク（住友ファームの特例子会社）
 - ✓ 水耕栽培を通して精神障がいをお持ちの方々の就労支援



新宿区障害者福祉センター



てみるファーム

- 知的発達障がい疑似体験セミナー
 - ✓ 講演者：新宿区手をつなぐ親の会Wind <https://youtu.be/PvhhpdT3ey4>



- クリスマス会での演奏！！
 - ✓ 依頼元団体：新宿区肢体不自由児者父母の会様
 - ✓ 目的：障がいを持たれる方々者と社会の繋がりを醸成する取り組みを進めるとともに、障がいを持たれる方々者と交流を図ることで、障がいについて理解を深める





九州活性化【地域ブロック活動】



薬粧連合 九州ブロック会議

九州の経済動向と今後の展望について
～九州経済のポテンシャルと未来～

2022年6月15日
公益財団法人九州経済調査協会
事業開発部長 岡野 秀之



<講演内容>

1. 九州の地勢的ポジション
2. 人口の構造～変わる都市のカタチ・福岡の成長ポテンシャル
3. 産業の構造～稼ぎ頭と成長エンジン、次世代産業
4. 成長に向けたインフラのあり方

九州をいかにして盛り上げていくかについて、薬粧連合加盟組合の支部役員同士で話すことができたなら有意義なのではないかと考え、公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長 岡野秀之氏をお招きし、「九州の経済動向と今後の展望について～九州経済のポテンシャルと未来～」というテーマで講演いただいた。



SDGs観点からのOTC課題整理【OTC医薬品委員会】

2022年度活動内容

4/15

- ▶ SDGs の理解を深めるだけでなく、OTC医薬品業界の課題についての議論・検討を重ねた。

<具体的な活動>

- ・SDGs研究会との意見交換会の実施



【2022.7.19 OTC医薬品委員会とSDGs研究会の意見交換会アジェンダ】

▶SDGs研究会の検討内容の紹介

- ・SDGs研究会として考える医薬品のあるべき姿より、OTCとしての課題を検討した経緯
- ・医療用医薬品で課題としている内容と取り組みの紹介（残薬問題）

▶OTCの営業現場についての質疑

- ・返品に対する感覚、OTC委員会としての返品問題に対する優先度
- ・返品・廃棄と働き方（ex.長時間労働、安全衛生etc.）という観点でのSDGsについて

▶返品廃棄を減らす施策について意見交換

- ・廃棄予備軍を有効活用する方法はないのか？（アウトレット品としての取扱や寄付etc…）
- ・業界団体に働きかけることによって何か施策は打てないか？（業界横並びで返品を不可とするetc…）

▶SDGs研究会に求めるものについての意見交換

- ・SDGsの視点でOTCの現場変革に必要な情報は何か？



カーボンニュートラル【地域ブロック活動】

講演：環境問題の動向と労働組合ができること

講師：光岡 伸洋（みつおか のぶひろ）氏

プロフィール

- ・アル・ゴア元米国副大統領 認定・気候変動対策リーダー
- ・元外交官（在中国日本大使館・一等書記官）

米国PMI認定プロジェクトマネージャー、MPA(早稲田大学, エネルギー政策)、EMBA(北京大学)、ヘルシンキ大学AIコース修了。安全な農業・グリーンエネルギーを通じた環境保全事業に取り組んでおり、2018年に中国・雲南省の貧困県で、オーガニック珈琲の事業化を実現し「2020アジア世界大学ランキング一位」の清華大学で講演を行う。被災地支援ボランティア団体の代表として、障がい者福祉施設のSDGs事業支援を中心に活動を続けている。また、NTT労組の特別執行委員として、学校・企業等で気候変動・SDGs研修を開催。2021年秋から渡米し、ハーバード大学ウェザーヘッド国際研究所に所属。



「環境問題の動向と労働組合ができること」をテーマに環境問題やSDGsの問題を具体的な事例を交えてご講演いただいた。

参加者からは「日常生活まで落とし込んで考えることができた」、「自分でできること、会社や労組という組織でできることを考えるいい機会となった」、「一步踏み込んで考えてみることで視座が高まった」、というコメントをいただいた。

対馬海岸清掃ボランティア (化学総連主催) 参加



長崎県対馬市

- ・人口約3万人の島
- ・島土の約89%が山地
- ・リアス式海岸



ツシヤママネコ

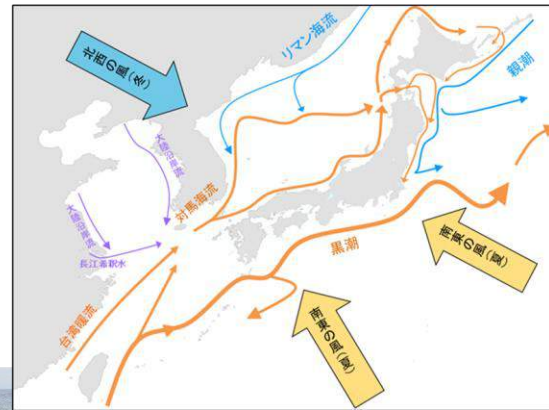


古代山城・金田城 (かねだじょう・かなたのき)

出典：対馬観光物産協会HPより一部加工

対馬の海岸漂着ゴミの現状

対馬市は、地理的に大陸に近く、対馬暖流や季節風の影響を受けて、毎年多量のごみが漂着する。2021年度の年間漂着量は32,105㎡（お風呂約18万杯分）。「最も海洋ゴミ漂着量の多い市」の一つであると言われており、国の補助金なども活用しながら官民一体となって取り組みが行われている。



出典：「環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務 海洋ごみ学習用教材 高校生用」



ゴミを拾う



分別する



ゴミ捨て場まで運ぶ



海岸清掃では大きなフレコン10袋分の漂着ごみを回収後、シーカヤックに乗り、陸からは立ち入れない海岸へ赴き清掃した。ごみの多くは中国・韓国から流れてきたペットボトルや漁具など。これまでには注射針等の医療用廃棄物や薬剤の空瓶が漂着しており、薬剤耐性(AMR)問題に影響が出かねない事例もある。大量の漂着ごみに大きなショックを受け、実際に現地視察することの大切さを実感するとともに、「つくる責任 つかう責任」について改めて考える機会となった。

災害寄付、新型コロナ対策支援、ウクライナ人道支援 【社会貢献委員会】



これまでの主な義援金・寄付先	金額
令和元年8月～9月、台風15号、台風19号、令和2年7月豪雨災害	各100,000
令和3年7月、8月豪雨災害	各100,000
コロナ感染拡大防止活動支援 (WHO)	500,000
コロナ感染拡大防止活動支援 (日本赤十字社)	500,000
コロナ感染拡大防止活動支援 (国連WFP)	500,000
ウクライナ支援：難民を助ける会 (AAR Japan)	500,000
ウクライナ支援：難民を助ける会 (日本赤十字社)	250,000
ウクライナ支援：難民を助ける会 (ピースウィンズジャパン)	500,000



● ウクライナ支援について

下記3点を考慮し、寄付先を選定

- ✓ 寄付が武器の購入に繋がらないことを前提とする
- ✓ 寄付先は国内NGO団体とする
(国内NGO団体の活性化に繋がる)
- ✓ 寄付先をある程度分散させる
(団体毎に支援対象者が異なるため)

オレンジリボン(児童虐待防止)啓発活動【社会貢献委員会】



私たちの
目指す姿

児童虐待防止に向けた個々人の意識を高め、
一人ひとりができることを考え、行動に移す

単組の児童虐待防止に関する取り組みを支援できる基盤を構築する

- 『オレンジリボン活動』とは
 - ✓ 多くの方に児童虐待問題に関心を持っていただき、市民ネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指す
- 児童虐待防止全国ネットワークへ寄付
 - ✓ 15万円の寄付
- 支援基盤構築のスキーム共有
 - ✓ 児童虐待防止全国ネットワーク様と単組での児童虐待防止に関する取り組みを支援する基盤構築の実現可能性を検討し、今後の活動も含めて共有

▼単組児童虐待防止活動の支援基盤構築のスキーム

段階	主旨	内容
1	活動の周知 (役員)	講演会の開催 (単組代表者会議、ブロック会議などの加盟単組の役員が集う場)
2	活動の周知 (組合員)	加盟単組の広報媒体への情報掲載 (広報紙、HPなど)
3	活動の展開 (委員会)	社会貢献委員会での活動実施
4	活動の展開 (単組役員)	加盟単組の活動支援



オンライン講演会の概要 (2021/9) アンケート結果 (抜粋) Q.児童虐待の実態や現状について理解できましたか？



目的: 児童虐待の実情や課題を知り、オレンジリボン運動の理解を促進する

演題: 子ども虐待の実態とその防止に向けて

演者: 認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク 田沢 茂之様

対象: 単組役員



平和への取り組みとしてフェアトレードセミナー開催【社会貢献委員会】



私たちの
目指す姿

平和を考える人（アンテナを張り続ける人）を
一人でも多く増やしていく

● 平和への取り組みにおいて大事にしたいキーワード（取り組みの指針）

- ①『**今**』：**「今、平和を脅かしている現状や原因・背景」**を理解する（「過去」ではなく、「今」に目を向ける。）
⇒「今」を知ること、「今、自分たちにできること」を考え、行動するきっかけをつくる。
- ②『**世界平和**』：平和な（紛争、戦争状態ではない）「日本」から、「世界」に目を向け、**「日本から『世界平和』に寄与できること」**を理解する
⇒現在の平和を考える上で、SDGsは重要なキーワード ※「日常生活と平和／紛争（SDGs：16）」
- ③『**日常生活**』：**「日常生活と世界平和とのつながり」**を理解する。

● スモールステップでも「アクション/行動」に繋がりたい！

- 身近なテーマを選び、参加者から周囲への波及効果を期待
- まずはアクションしてみてもらうことにより、意識改革/行動変容を期待
- 聞くだけでなく、講演の効果を高めるためにプラスαの体験を伴う設計に



なぜ途上国の生産者たちは厳しい状況なの？



地域ブロック活動を通じた加盟組合同士の仲間づくり

【地域ブロック活動】



ALL FOR One Project【社会貢献委員会】

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



私たちの
目指す姿

薬粧加盟組織の組合員さんやそのご家族の社会的孤立を
防ぐために相互扶助の精神のもと、薬粧全体で支える

All for One Project始動に向けた準備

● 募集基準

自分またはご家族が難病または障がいにより、
経済的支援あるいは社会的支援が必要な人

家族の範囲（原則）
同居している家族

病気の範囲
制限なし

障がいの度合い
制限なし

● 準備状況

- ✓ All for One Project ポスター作成
- ✓ 運用ポリシー、Q&A集の作成
- ✓ 単組代表者会議にて概要説明



2023年度より
運用開始

【想定する活動例】

- 手術を控えた子供を励ます応援メッセージを送って欲しい
⇒千羽鶴や寄せ書きを作成し、贈る。
- 病気の事、治療の事、介護の事で悩みを相談する場が欲しい
⇒対話会の開催や支援団体を紹介する。



異業種との違いを感じるため他業界労組の研究開発担当 組合員との意見交換会を開催【研究開発委員会】



異業種との違いを知ること、研究開発部門の
価値向上に貢献できるはず！

「製薬企業の研究開発って
何見えてくれない？」



★研究開発の新たな価値創造
➤イノベーションの生まれやすい環境
➤次世代のR&Dに求められる人材像

<取り組み内容>

- ✓ 異業種の実態調査
- ✓ 異業種交流会

異業種との意見交換会を実施しました！

- 背景：
 - ✓ 各々は製薬業界内の研究開発部門の課題が見えていない(サイロ化、ガフバグス状態?)
 - ✓ 異業種からの学び・共通する悩み事、「違いを知る」ことにより、相乗効果・課題認識がより明確にできるかも

● 目的： 異業種交流を通じて、「イノベーション」に関わる内容の意見交換を行い、
それぞれの業種における研究開発部門の価値向上に向けたヒントを得る

- 情報交換会：
 - ✓ 共同先：富士フイルムとビジネスイノベーションの研究会(研究会) | FUJIFILM (富士フイルム)
 - ✓ 開催形式：対面形式(相手先研究開発部の御礼合議室(横浜))
 - ✓ コンテンツ：インプット(組織紹介、イノベーション事例紹介) 1h、グループワーク 1h、計2hr

- 振り返り：
 - ✓ 参加者からは好評で「多くの気づきを得られた」という声多数

<得られた気づき>

- ✓ チェレンジ精神や失敗を恐れない姿勢がイノベーションの源泉
- 小さな成功体験/失敗体験、そのサイクルを早く！(高木様)
- 企業規模が大きくなるほどイノベーションへの取り組みが困難になる
- ✓ 問題解決力より問題発見力、やり取り力とプロセスマネジメント
- 顧客主導(ユーザーニーズへの対応) vs サービスドリブン
- 研究開発と営業現場の協働のスタイル
- ✓ ドラッグ/バリエーション/特許品の新たな価値創造の考え方

<企画感想>

- ✓ これまでにない取り組みに魅力、アイデアの幅が広がった
- ✓ とても良い刺激になった
- ✓ 社会貢献も多い
- ✓ 弊社のことも改めて知るきっかけになり、優越感がない、得意に繋がった
- ✓ この取り組みの継続を希望

業種別(平均値)	Mean	SD
企業 (n=15)	8.9	±1.6
薬製研 (n=9)	8.7	±1.9
FBWU (n=6)	9.2	±1.2

参加者アンケート 薬粒連合(研究開発委員会)

- ・「企業規模が大きくなるほどイノベーションへの取り組みが困難になる」という感覚は企業・業種の違いに関わらずあるんだと改めて感じました。特に、イノベーション創出に前向きに取り組む奇抜(ユニーク)な人材を如何にしてリテンするかについては労働組合としてもしっかり考えたいと思います。
- ・いかに失敗をしながら成長するか、リスクをとれるかということが大事だが、業界体質やお国柄で難しい面もある。そこを労組がカバーしていくことが重要では？
- ・Seeds-drivenであったとしても、最終的にGo判断をしたい時は現場の課題感が一番重要
- ・物を売ってなんぼ、のメーカーは営業部隊の力が強い。その分、研究者との目線のズレは起こりやすい
- ・富士フイルムBIの研究部門もニーズよりもシーズ(革新的な技術)に固執しがちであり、お客様との距離が遠いことが原因だろうという考察をいただいたが、製薬企業においても陥りやすい傾向にあると思われる。科学的な関心だけでなく、より患者への実情に関心を持つことがイノベーションに繋がるのではないかと感じました。
- ・失敗経験こそが学びを生み、チャレンジ精神や失敗を恐れない姿勢に繋がるイノベーションの源泉と思います。失敗をすることが本業で難しいからこそ、労働組合で誰もが挑戦でき、失敗が許容される場・機会を提供し続けることで、中長期的ではありますが組合員の挑戦的姿勢やマインドを育み、お互いに挑戦を認め合い讃え合う風土づくりに貢献できるのではないかと感じました。
- ・Game Change Modelで触れられていたお客様基準、後戻りなき開発は業界問わず必要なマインドセットかと思いました。
- ・Game change modelでは、ユーザーの求める仕様を製品設計に反映するという点について具体的なお話をいただいたが、アンメットメディカルニーズという視点以外に、ユーザー視点からのニーズに医薬品産業としてどのように貢献していけるか、今後の参考にしていけたらと思います。
- ・イノベーションに関しては、失敗を恐れない(失敗の回数というよりは意思決定を早くすることによる、失敗のコスト、かかる時間の削減を意識する)ことが重要であり、そのような風土が製薬業界には生まれにくい。
- ・イノベーションの起点が大事。問題解決力よりも問題発見力が大事。当たり前を疑い、リスクをとってでも変革する行動が必要。必要に応じて、マネジメントの巻き込みやネゴが必要。
- ・小さな成功体験/失敗体験の積み重ねで挑戦風土の醸成ができないか、等。
- ・イノベーションは着想できるかが大事なこと
- ・どのようにすればその「着想」が活発化するかを考えたいですね。
- ・固定概念を覆したというブレイクスルーのお話を伺い、勇気をもらえた。ゼロベースで考えることがイノベーションに繋がることに改めて気づかされた。

薬粧連合未加盟労組のオブザーブ参加を通じた仲間づくり 【CMO委員会】



- 目的
 - 2020年度から委員会として新設。薬粧連合未加盟労組にもオブザーバー参画していただくことで、**CMO・CDMO業界の関連労組との連携を深める（これまで4つの未加盟組織が参画）**
 - メンバー及び各労組の相互理解を深めるため**労働組合の活動や運営の高質化に必要な情報交換**を行う
 - **医薬品製造受託市場の実態と動向について理解を深める**ために研鑽を行う
 - CMO・CDMO業界の特有の問題等について議論を進め**業界の更なる発展や問題解決に繋げるための対策・政策を立案**する
 - 立案した対策・政策を実現するために**関連する他団体（業界団体である日本CMO協会、行政である厚生労働省・経済産業省）と必要に応じて連携**を図る

➤ メンバー構成

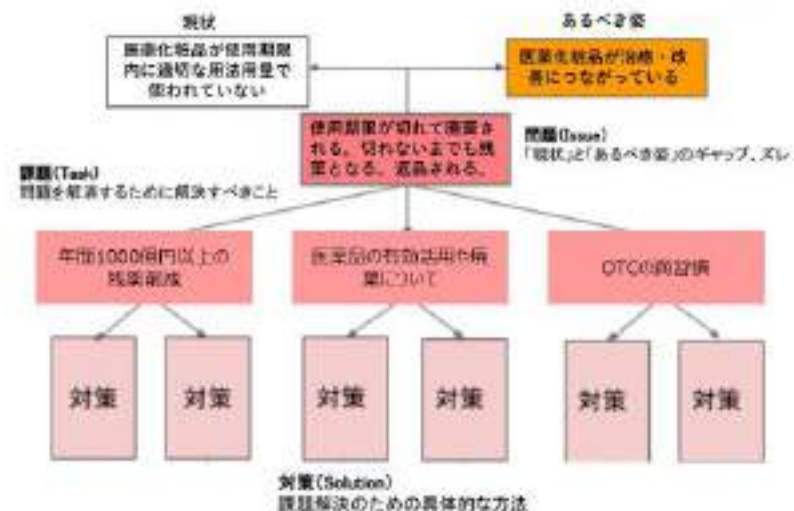
医薬品製造受託（CMO）・医薬品開発製造受託（CDMO）を生業とする企業の労働組合の三役を基本に構成

医薬化粧品の廃棄・残薬・返品といった問題の本質的課題や対応策、その課題が引き起こすSDGsについて調査研究【SDGs研究会】



- 薬粧連合の綱領を実現するためには、産業活動の流れである研究から治癒・改善までがよどみなく流れることが重要と考えた。
- 既に取り組まれている課題がある一方、個別企業では取り組みにくい社会課題が残されており、薬粧連合として取り組む意義があると考えた。

あるべき姿と現状の課題整理



残薬を減らす取り組みを調査

調査結果

- 患者や医療関係者の残薬に関する意識を高め、加えて薬局側が積極的に介入することで効果的な残薬削減に繋がるものとする。これら取り組みによって、年間数百億円から3000億円以上の削減効果が期待されている。
- 病院や薬局では残薬を減らす取り組みが行われている。

ブラウンバック運動

- 患者が残薬や日常的に服用している薬を薬局へ持ち参り、薬剤師等により、残薬を減らしたり服薬アドヒアランスを改善する取り組み。
- 本取り組みにより、外来服薬支援料を算定できる。(条件あり)



リバイバルドラッグ

- 全国の薬局でデッドストックやスリーブ状態になった医療用医薬品を預かり、必要としている薬局にインターネットを通して販売
- 医療機関登録数: 約1200店



【検討結果】

- 残薬の有効活用は見込めないため、残薬を減らす取り組みが重要！！

フランスの過去事例

- 団体名: Cyclamed
- 残薬を途上国等へ提供。
- 現在は実施していない。

WHO医薬品提供ガイドライン

「残薬の提供は害の方が益よりも多いため、多くの国で禁止もしくは非推奨」

※ジャパンパートナー種から情報提供

【化粧品の事例】コスメバンクプロジェクト

- 旧仕様品や店頭返品（未開封）等、品質に問題は無いが再販売の難しい良品を企業から募り、経済的困難を抱える女性に無料配布する活動

医薬品でも出来れば、より多くのひとの治癒・改善につながる

返品問題についてOTC医薬品委員会メンバーとの意見交換会開催、『映える』SDGsフォトコンテスト、サステナブルフード体験【SDGs研究会】



OTC医薬品委員会×SDGs研究会～意見交換会～

【実施の背景】

- SDGs研究会としては医薬品のあるべき姿からOTCの高習慣による返品問題に課題感→OTC医薬品委員会の議事録で小売りと意見交換会にSDGsの観点を盛り込めないかというユエアンスの内容を拝見し企画に至った



『映えるSDGsフォトコンテスト』(6/6～27)実施報告

【概要】

- 薬粧連合SNS上でフォトコンテストを開催し、加盟組合組合役員さん・組合員さんからSDGsに関する『映える』（見栄える）写真を投稿していただく。

【目的】

- SDGsについて楽しく知ってもらい、個人でもできる(またはすでに実践している)、世の中にすでにあるSDGs活動に気づいていただく。
⇒ 24名の応募！ありがとうございました！
- 薬粧連合SNS認知度向上。⇒フォロー100名突破！



サステナブルフード美食

